

野在住で東京工業大学の名誉教授・元学長の伊賀健一氏
日、町田市名誉市民として顕彰された。2021年5月
工学の分野で世界で最も権威のあるIEEE（電気電
位の二つ、エジソンメダルを受賞するなど、伊賀氏の
えられたもので、5人目の名誉市民の誕生となった。

高速
スマ
用さ
器型
念創
への
て今
ダル
が贈られた。1977年
に面発光レーザーのアイ
デアを得て以来、200
1年に退職を迎えるまで
研究を続け、1990年
代にはアメリカや欧州の
大学や研究機関で講義を
行って研究の輪を広げた



とともに賞状を掲げる

伊賀氏。2013年に世
界的学術賞「フランクリ
ン賞」の最高位パウワー
賞、18年には瑞宝重光章
や市民栄誉賞を受賞。ほ
かにも数多くの受賞歴が
あり、それらの功績が称
えられてこのほど、名誉
市民を推挙された。

伊賀氏は9月30日に
市役所で行なわれた
顕彰式で、「これま
で立派な方々がなら
れてきた名誉市民。
自分も推挙する委員
でお二人を選んでき
たので、その偉大さ
はよく知っている。
選ばれて身が引き締
まる思い」と話し、
同行した夫人ととも
に顕彰を喜んだ。

先輩名誉市民たち

市から1997年に初
めて名誉市民に推挙され
たのは版画家・畦地梅太
郎氏と随筆家・白洲正子
氏。畦地氏（1902～
99）は76年に町田市に在
住し、「畦地梅太郎版画
集」「山の呼ぶ声」などの
版画作品を多数発表。83
年に市へ寄贈された自作
275点は市立国際版画
美術館に所蔵されてい
る。白洲氏（1910～
98）は戦前から能ヶ谷に
居住し、著名な文筆家・
評論家として活躍。「お
能」「心に残る人々」「かく
れ里」「鶴川日記」など数
多くの著書があり、
「武相荘」と名付けられ
た自宅は、市の指定史跡
となっている。2014
年に推挙された造形美術
家・三橋國民氏（192
0～2018）は太平洋
戦争中ニューギニア戦線
にて、所属部隊40人のう
ち2人のみ生き残り帰還
した。以来、僚友たちへ
の「鎮魂」と「平和への願

い」をライフワークとし
て彫刻、絵画、彫金など
幅広い創作活動を行っ
た。原町田大通りの「明
けゆく」など市内各地に
町田市ゆかりのモニュメ
ントを残している。18年

推薦
氏（
は72
著名
し、
4会
田フ